

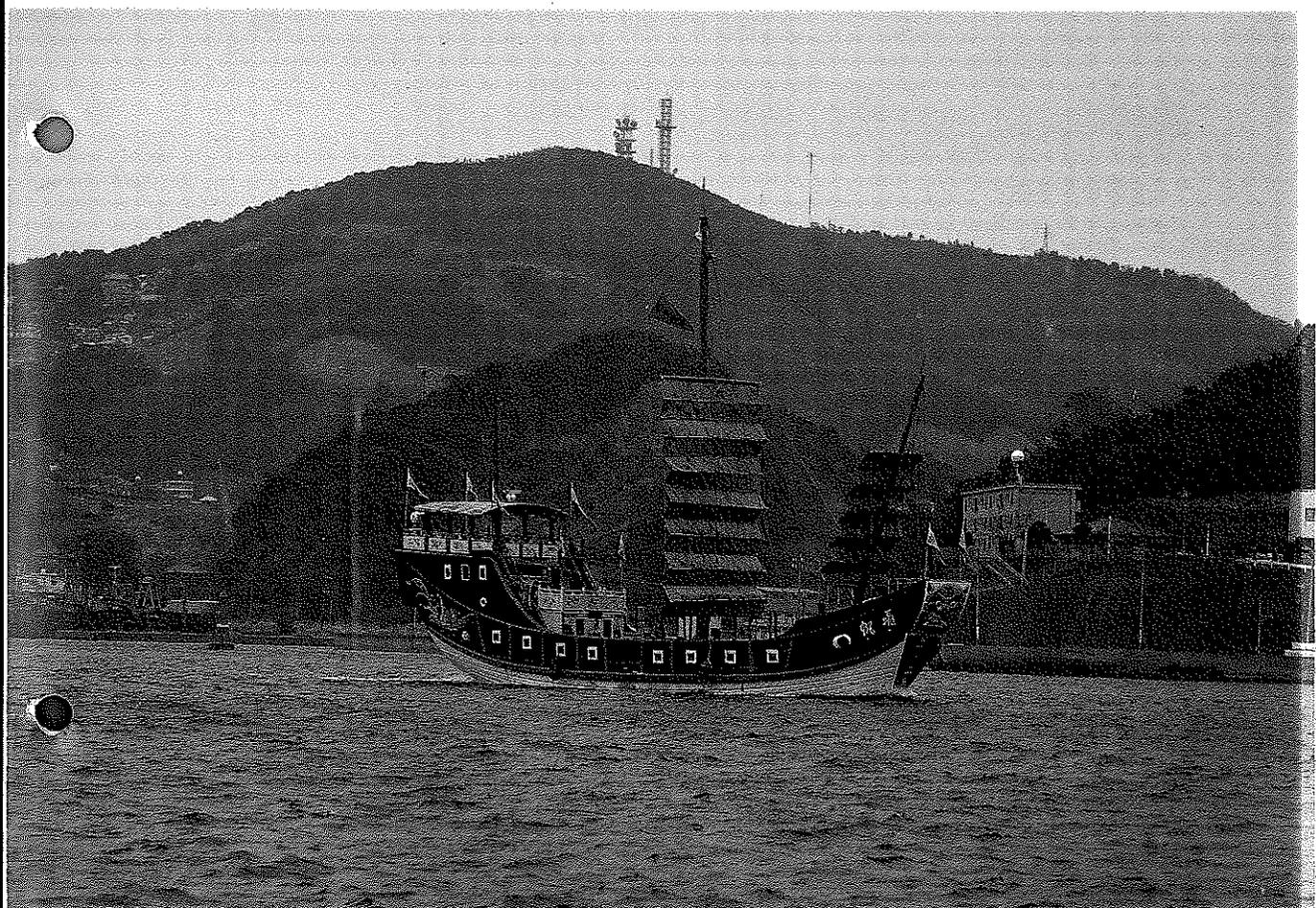


社団法人
長崎青年協会憲章

我々は會員の團結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
會員の親睦を図り
もつて地域社会の發展に
寄与する事を目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会



■本年度スローガン

ハートが ちからに
行動が ちからに

NYA press no.177
March 1994

3

発行 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 森保博
編集 広報委員会
広報委員長 伊藤克樹

2月定時例会開催

平成6年2月21日(月)

於 ホテルニュー長崎



鶴の変遷の締めくくりともいえる2月定時例会が21日(月)ホテルニュー長崎にて行われました。

今回の講師は、長崎県企画部参事監の松尾正次氏より、“長崎再生をめざしてナガサキアーバンルネッサンス2001構想”と題して現在進行中の計画について話されました。

構想から7年が経過した今、徐々に計画が事業化されており、内港地区では先行プロジェクトとして埋め立てが進んでいます。青年協会では、この1年間「鶴の変遷」と題して長崎港の歴史、特に埋め立ての歴史について例会の場で学んで来た訳ですが、講師のお話を理解する上で大変役に立ったようです。

配られた『未来を見つめて……やがて長崎に新名所誕生』という小冊子の中に、人や知識・情報が国内外から集まるコンベンション都市を昔のように長崎に復活させるという内容がありましたが、講演の始めに見せられたスライドや質疑応答を通して「NUR2001構想」がより現実的なものとして、また、長崎に住む会員にとってもより身近なものとして感じられたことと思われます。

講演の後は白波五人男の装束を着たヨロコビマンが登場し、なにやら意味不明の啖阿を切って会場の爆笑を誘いました。

第3回海外研修 (韓国・SEOUL)

平成6年2月25日～27日

「社国際障碍人文化交流協会」と交流

去る2月25日、新ヶ江事業担当副会長を団長とする研修団一行は福岡空港を出発、空路ソウルへと向かいました。研修期間中すばらしい天候に恵まれ、終始楽しい且つ有意義な研修でした。

ソウル到着後、今回の研修旅行の際、窓口になって頂いた長崎県ソウル事務所を表敬訪問し、大津所長とお会いしました。この事務所は、開設されてまだ1年余りで現地人スタッフ2名と大津所長で構成され、公用語は日本語とされており、訪韓中の長崎県民が気軽に立ち寄れる様になっていました。

その後、社国際障碍人文化交流協会を訪問し、福祉について相互の意見を交換しました。この文化交流協会の事務局長である金 秀子さんは、日本に10年以上住んでおられ、日本語が堪能で彼女らの活動状況を、日本語で説明して頂きました。文化交流協会は、元々宣教活動団体として発足されましたが社会福祉活動を主な事業とする為、韓国で障害者の日(4月20日)に「社国際障碍人文化交流協会」と生まれ変わったそうです。

金さんの活動状況説明の後、韓国側出席メンバー6人と相互に紹介し、桑田次年度会長により青年協会の活動についてビデオを通して説明しました。画像により、よりよく理解して頂いたのか、韓国メンバーの固い表情も柔らぎ和やかな交流会となりました。出席された文化交流会のメンバーは自らが障害者であり、ふうせんバレーボールについて大変興味を持たれ、金さんが団長となり、ぜひ長崎を訪問し、ふうせんバレーボール大会に出場したいと言っておられました。最後は、金さんによる祝福のお祈りで交流会は締めくくられました。

時間に余裕があれば、もっと深い交流ができたのですが、スケジュールの都合上この会場を後にしました。しかし、金さんをはじめ、文化交流会のメンバーの福祉に対する真剣な姿勢には感動させられました。



平成5年度『平成の寺子屋』研究依託発表会

平成6年2月5日(土)
於 長崎県農協会館

青少年育成事業の成果を発表

2月5日(土)、寺子屋の精神を取り入れた地域青少年育成活動のあり方を探る、長崎市の「平成の寺子屋」事業の本年度研究依託発表会(長崎市青少年育成連絡協議会、長崎市教育委員会主催)が、長崎県農協会館において開催されました。

長崎青年協会は、昨年実施した青少年育成事業の「大好き長崎なるほどセミナー」の活動報告を合六委員長が行い、パネルを使って「伊王島ふれあい宿泊体験セミナー」「親子田植えセミナー」「秋の収穫祭セミナー」等を、わかりやすく説明し、青少年育成事業の成果と課題をまとめて発表しました。



‘93大好き長崎なるほどセミナー修了式

平成6年2月13日
於 長崎市民会館



2月13日の日曜日、本年度の青少年育成事業として実施してきた「'93大好き長崎なるほどセミナー」のビデオ鑑賞会ならびに修了証書の授与式が、長崎市民会館大会議室に於いて開催されました。

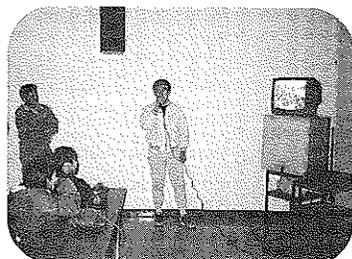
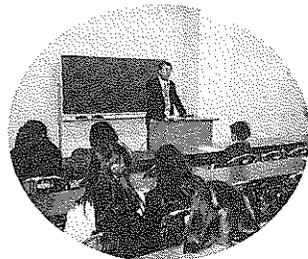
修了証書の授与については、昨年(11月21日)に稲佐山ハイキングを兼ねて行うことになっていましたが、ちょうどその日の天候が悪かった為参加者も少なく、一部の子供達の授与式のみが行われただけとなってしまいました。

せっかくこれまで、6月に第1回:「親子田植えセミナー」、8月に第2回:「伊王島宿泊体験セミナー」、11月に第3回:「秋の収穫祭セミナー」を行って、最後の修了式が中途半端な状態では残念だということで、今回もう一度参加者の方々にお集り頂き、いつも撮影に携わっている平田君の編集による、今年度のなるほどセミナーのビデオ鑑賞会ならびにゲーム大会と併せて行われました。

ビデオ鑑賞では、参加者の子供達は、自分や友達が映っているのときお笑いしたりしながらけっこう真剣に見入っていました。続いて、白山君ら青少年育成委員会のメンバーが考えた4択勝ち抜きクイズが行われ、我々会員も「なるほど」と思うようなクイズもあり、なかなか好評でした。そして、前回の授与式に来られなかった参加者に、森会長より修了証書の授与が行われました。

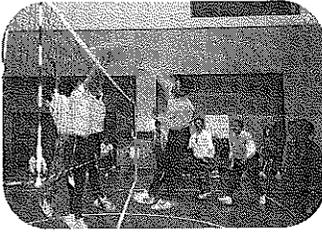
最後に、25周年事業担当理事の桑田君の挨拶で今回の「'93大好き長崎なるほどセミナー」の修了式を締め括りました。

参加者の皆さんが帰られた後、青少年育成委員会委員長の合六君より、あらためて本年度の担当事業が終了したことの報告と各事業への参加・協力に対してお礼の言葉がありました。合六委員長をはじめ、青少年育成委員会の皆さん、ならびに会員の皆さん、1年間たいへんお疲れ様でした。



平成5年度 新人総括研修開催

平成6年2月13日(日)
於 長崎東公園体育館



去る2月13日、小春日和の日曜日に、本年度の新人研修が長崎東公園内体育館に於いて開催されました。今回は、今までに無い「ソフトバレーボール」で心地好い汗を流しました。

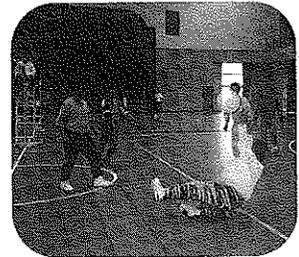
これは、青年協会では恒例の事業で、その年に入会した新人の皆さんが企画運営し、憲章にもうたっているように「会員の団結」「相互扶助」「自己の建設」「会員の親睦」を目的として毎年開催されています。

本年度は、25周年事業として「ふうせんバレーボール長崎大会」を開催しましたが、新人研修においても、普通のバレーボールとは若干違った「ソフトバレーボール」を行いました。ルールは、ラリーポイント制の15点先取の得点とボールが少し大きめで柔らかいこと等が違ふ他はほとんど6人制バレーボールと同じでした。

午後1時より蓑原君の司会で始まり、板倉君の毎度お馴染みの力強い選手宣誓、ラジオ体操と続き、いよいよA・Bパート各3チームに別れ計6チームによる熱戦の火蓋が切られました。

「ふうせんバレーボール」と同様に、この「ソフトバレーボール」も、やってみると以外と難しく、なかなかサーブが入らなかったり、逆にサービスエースが続いたりして、ろくに練習もしないで甘く見ていたメンバーは、悪戦苦闘していたようでした。今回は新人6名をキャプテンとしましたが、結局、決勝戦は峰チームと中山チーム、3位決定戦は小泉チームと末石チームによって争われ、優勝は峰チーム、準優勝は中山チーム、第3位は小泉チームという順位で幕を閉じましたが、最後には、時間が余ったので、役員チームVS新人チームというエキシビジョンマッチも行われ、大方の予想に反して役員チームがこの試合をものにしました。

気持ちいい汗を流した後は、表彰式を含む夜の懇親会を楽しみに東公園体育館を後にしました。



○新人研修懇親会開催○

平成6年2月13日
於 銀鍋



新人研修の締め括りとして、昼間に「ソフトバレーボール」という新しい競技で汗を流した後、これまた新しい趣向の懇親会が午後7時より銅座の銀鍋で行われました。

まず、桑田25周年事業担当理事の挨拶、その後、「ソフトバレーボール」の表彰があり、優勝・準優勝・第3位のチームの代表者にそれぞれ賞品が贈呈され、続いてMVPの発表では、足の肉ばなれをおこすほどハッスルした森会長と、大いにゲームを盛り上げ笑わせていただいた荒内君に豪華な賞品が手渡されました。これもまた変わったところで、「新人に対してゲキをとばす」という題目で荒内君・西口君・金田君により3分間スピーチも行われました。

続いて本日の懇親会のメインイベント「人間バトルロイヤルロシアンルーレット」が始まりました。これは、新人5名が前に並び、おにぎりの中のわさび入りおにぎり・日本酒の中の酢・ウーロン茶の中のウイスキー・シュークリームの中のからし入りシュークリームがそれぞれ誰に当たったかを他の参加メンバーが当てるといふ、新人の「忍耐力」および「演技」と会員の「洞察力」を見る、「一気飲み」に優るとも劣らない過酷なゲームが行われました。懇親会のお馴染みの「一気飲み」がなかったことは、青年協会も時代と共に流れが変わっていったなと思われました。

結局、新人の演技力にみんなが騙されてしまい、当てることができた会員はいませんでした。最後は、井上担当副会長による一本締めでおひらきとなりました。

新人のMVPには中山君が選ばれましたが、他の蓑原君・小泉君・鶴柴君・峰君・末石君、皆さん今回の新人研修ほんとうにお疲れさまでした。胃は大丈夫だったかな……？



鶴の変遷

例会委員会

例会委員会では、長崎の歴史、文化等を広く理解していこうという目的で、長崎——という港町——には、切っても切り離せない港をモチーフにして、歴史から近代化までの歩みを現在開発中のアーバン・ルネッサンス2001構想を基軸として、取材を1年間続けてきました。

鶴—— この鶴という由来は、長崎の港の形が、山の頂から望むと、鶴が羽を広げた姿に似ているという（他にも説はあるがこれが一番有力）ことからきています。

400年以上もの開港の歴史を持つ長崎は日本でも一番長く、また、現在に至っても、有数の貿易港であり拠点ともなっています。そんな中、江戸時代には日本中から様々な人々が長崎へ集まってきました。そして、十人町、船大工町、出来大工町、鍛冶屋町といった町名が現在も残っていますが、それぞれの職人たちが、各々の町に集中し、都市を形成していきました。江戸時代には、天領として栄えていました。時代趨勢の中、現在長崎は造船と観光という町になっています。昔も今も変わらないのは港を中心に長崎は動いているという事実です。

現在開発中のアーバン・ルネッサンス2001構想は、長崎の背骨ともいえる、松ヶ枝、常盤地区から、浦上川中流域（大橋地区）までの開発をいいます。特に例会委員会では、松ヶ枝、常盤地区の埋立にしばって、例会の鶴の変遷というコーナーで紹介してきました。実際開発はもう始まっていますが、私たち長崎県民として、一つの財産として積極的に活用していくために、青年協会の会員各々に目的意識を芽生えさせることができたことは、例会委員会としての一つの成果であったと思います。



一年間、ありがとうございました。

◀ 新人紹介 ▶



中村 健一君
生年月日 昭和42年11月26日生
歳・血液型 26才 O型
勤務先 長崎セキスイ
ハイム(株)南営業所
趣味 音楽、ドライブ、
スポーツ

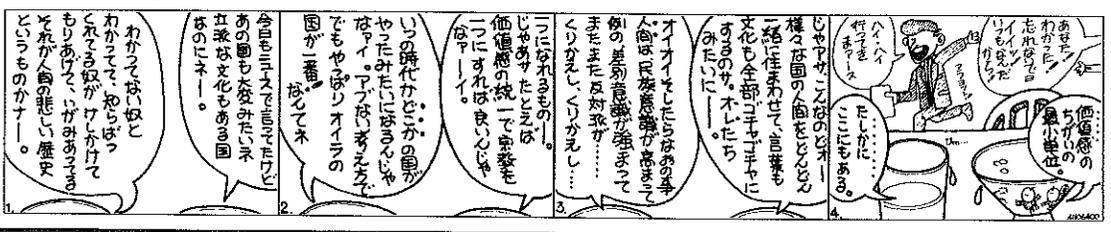


井上 英夫君
生年月日 昭和33年9月23日生
歳・血液型 35才 B型
勤務先 田中食品株式会社



田中 達也君
生年月日 昭和40年4月2日生
歳・血液型 28才 A型
勤務先 タナカフーズ
システム株式会社

ぼってん 君 「雑器からみる人間の考察。」



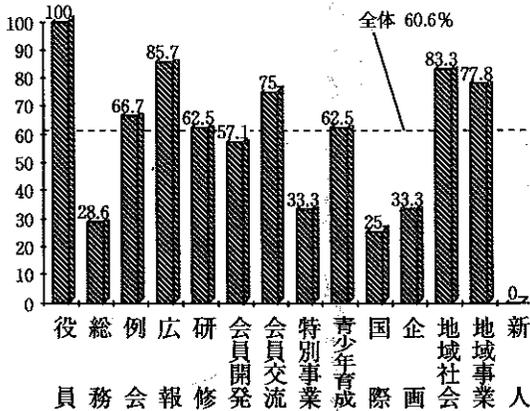
☆ NYA information ☆

Committee for Regular Meetings

例会委員会

一年間、皆様のご協力ありがとうございました。3月22日(火)は、「卒業を送る夕べ」ですので、多数のご出席を宜しくお願い致します。

2月例会出席率



Secretariate

事務局

新人の次年度の委員会配属が決定いたしましたので、みなさんにお知らせいたします。

- 中村 健一君 地域事業委員会
- 田中 達也君 事業委員会
- 井上 英夫君 国際開発委員会

Tennis

テニス同好会

“春が来た 春が来た”と、平成5年度最後のテニス同好会を開催します。先月は寒い中12名の参加があり、ゲームを中心に行いました。目標は「試合にでる」ことです。どしどし参加して、いい汗を流し、おいしいビールを飲みましょう。

日時 3月17日(木)

PM9:45~PM11:45

場所 トレディアテニスクラブ

問合せ先 桜井まで

Golf

ゴルフ同好会

去る2月24日(木)、長崎国際に於いて第4回森会長杯が開催されました。諸事情により参加は6名でした。その中で見事優勝されたのは、黄OBでした。敢闘賞は予想通り平山君に輝きました。今回は皆様よろしくお願ひします。

Baseball

野球同好会 (ソフトボール同好会)

ソフトボール同好会では、今年からエントリーした、早朝野球の試合日程が決まりました。朝早い時間ですが、皆様の応援を宜しくお願ひします。

日時 3月25日(金) 夜明け(AM5:30ぐらい)

場所 神の島グランド

COLUMN (編集後記)

広報委員会 Public Relations Committee

早いものでもう春!桜の花舞い散る出会いと旅立ちの季節となりました。一斉に咲き誇っては深く散っていく美しい桜の花は、移り変わる季節とともに生きていく日本人の美意識に、深く触れるものがあるのかもしれない。ところで、この時期の桜は、花ばかりか枝や幹まですべてが真っ赤になっているそうです。美しい花を咲かせる為には、桜の木の総力が結集している訳です。長崎青年協会も会員の団結と相互扶助の精神で、更なる美しい花を咲かせることを期待し、一年間の広報委員会活動を締め括りたいと思います。ご協力ありがとうございました。(伊藤 克樹)



☆復元唐船『飛帆』1993都市景観賞奨励賞(表紙説明)☆

■選定理由

長崎港に帆船を浮かべたいと結成された市民団体会員の会費と募金により、「飛帆」は中国本土の造船所で、伝統的な手法により建造された。長崎港に回航され早4年余が過ぎた現在、港の景観に違和感なく溶け込み、鎖国時代の長崎港を彷彿させる。

■復元唐船「飛帆」

延 廬 数/104t

幅 / 8m

総 延 長/31m

マスト高/26m

写真提供/長崎市都市景観賞表彰実行委員会